

令和 5 年度事業計画

法人の部	p 1
太陽パン	p 2
虹工房	p 8

1. はじめに

前年度に引き続き法人の事務局作業の整理を行う。

2. 今年度の取り組み

(1) 太陽パン業務の整理、縮小、分担、移譲の定着とさらなる推進

①生地製造の職員への移譲についての検討

(2) 法人業務の整理・簡略化

①パソコン内データの整理（ルール作り）

②データ消失への対策

③法人業務予定の視覚化等

(3) 管理者業務の整理、簡略化、分担、委任

①通常業務

②作業時間取り戻しの取り組み

(4) 虹工房について

①現状維持

(5) 評議員会

①6月に前年度事業報告・決算報告等の評議員会を開催する

(6) 理事会等

①必要な分を行う

(7) 資格取得と給与との関連の検討

(8) 主な定例業務

以下の定例業務を行う

①福祉職員の処遇改善加算等の申請・報告

②退職掛金対象職員届

③工賃実績報告

④労働保険料届(社会保険労務士)・支払

⑤社会保険報酬月額届(社会保険労務士)

⑥社会保険賞与額の届(社会保険労務士)

⑦時間外労働時間労使協定の届(社会保険労務士)

⑧給与等計算(税理士)

⑨給与等支払

⑩月次決算(税理士)

⑪年末調整(税理士)

⑫リース契約の管理

⑬保険契約の管理

⑭その他契約の管理

令和 5 年度事業計画

就労継続支援B型 太陽パン

行動指針

1. 私たちは、一人ひとりが主役の事業所をめざします。
1. 私たちは、社会の中での生活を感じられる事業所をめざします。
1. 私たちは、「協力し合う」、「規則を守る」、
楽しく、厳しく、温かい事業所をめざします。
1. 私たちは、出来ることを一步步増やし、
社会の中で生活する力をつけるよう指導・支援します。
1. 私たちは、一人ひとりに目配り、気配りし、
気持ちが伝わり合いながら指導・支援します。
1. 私たちは、交流の場を拡げ、
社会の中で障害者への理解が進んでいくことをめざします。
1. 私たちは、指導・支援することにより、私たち自身も成長していきます。

はじめに

(1) 令和 5 年度の基本的方針

- ①障害等の有無にかかわらず、仕事をするを通して社会参加し自身の存在価値の表明と実感を得ることを支援していきます
- ②各人の本分を全うするためにそれぞれの作業の最適化を行います

(2) 所員の状況(令和 5 年 4 月 1 日現在)

① 年齢 平均年齢 46.2 歳

20 代前半 1 名、 20 代後半 0 名、
30 代前半 1 名、 30 代後半 2 名、
40 代前半 2 名、 40 代後半 1 名、
50 代前半 3 名、 50 代後半 1 名、
60 代前半 1 名、 60 代後半 1 名

② 手帳

療育手帳 A1 2 名、 A2 3 名、 B1 4 名、 B2 1 名
身障手帳 1 級 1 名、 2 級 1 名
精福手帳 2 級 1 名

(3) サービス費等

- ①就労継続支援B型サービス費 611 単位 × 出勤日数
- ②処遇改善加算Ⅲ 単位合計の 2.2%
- ③目標工賃達成指導員加算 89 単位 × 出勤日数(令和 4 年 11 月から)

昨年度に引き続き所員の作業できる場面を増やすことを念頭に置いて製造・販売を行います

(1) 製造

① パン作業工程と所員・職員の作業割合

	作業工程	所員	職員	R5 年度の目標
1	調味(粉)	10	0	現状どおり進めていく
2	調味(味付け)	10	0	現状どおり進めていく
3	パンの捏ね	0	10	将来の課題としておく
4	分割	5	5	計りの作業は職員がすべてを行っているので、計る場面でも所員が入れるように工夫をしていく
5	成形	7	3	全員が成形に入れる場面は増えたので、入れる種類・機会をより増やしていく、
6	焼き	9	1	現状どおり忙しいときは2人体制でサポートをしていく
7	袋入れ	5	5	現状どおり分担して作業を行うようにする
8	仕分け	2	8	所員も入ってもらうようにしていく
9	あんこづくり	8	2	サポートをしていく

② クッキー作業工程と所員・職員の作業割合

	作業工程	所員	職員	R5 年度の目標
1	調味	7	3	現状どおり作業できるようにする
2	生地作り	0	10	職員がすべてを行っているので、所員が入れる場面を考慮していく
3	計量 成形	8	2	現状どおり作業できるようにしていく
4	焼き	9	1	現状どおり忙しい時は2人体制でサポートしていく
5	袋入れ	7	3	全員が参加できる場面が増えたので、季節クッキーなど参加できる場面を増やしていく
6	袋入前一時保管	7	3	現状どおり分担して作業していく
7	在庫数管理	0	10	職員がすべてを行っているので、所員が入れる場面を考慮していく

(2) 販売

① 販売の流れと所員・職員の役割

	販売の流れ	所員	職員	R5 年度の目標
1	準備	9	1	現状の通り工夫・考慮をしていく
2	会計 袋入れ	8	2	現状どおり作業できるようにする
3	接客	8	2	担当者が各自責任を持って生き生きとできているので、継続して行っていく
4	集計	0	10	将来の課題としておく

3. 福祉活動

(1) 健康管理

所員の健康を維持、促進のため次のことを行います

- ① 健康診断（本年度は行わない）
- ② 体重測定（月1回実施）
- ③ 服薬管理
- ④ 健康状態の観察・把握（体調面を考慮しての作業調整）
- ⑤ 歯磨き支援
- ⑥ 衣類調節等の支援
- ⑦ トイレ誘導（排泄状況の把握等、声掛けも含む）
- ⑧ ウォーキング・ストレッチ体操の実施

(2) 研修

研修を通じて新たな教養を身につけていきます

a. 研修旅行

- ①研修旅行の実施（本年度は予定しない）

b. 施設研修

- ①施設研修の実施（本年度は予定しない）
- ②防災施設見学と体験（日程は未定）

(3) 親睦

他者との交流により親睦を深めていきます

- ①忘年会（12月）

(4) その他

- ・そば打ち体験（2月）

4. 支援活動

(1) サービス管理

家庭との連絡を密にし、支援内容の充実を図ります

- ①個別面談（個別支援計画を含む）
- ②家庭訪問（必要に応じて）
- ③自宅への送迎（体調面を考慮したうえで不良時）
- ④保護者への連絡（連絡帳でのやりとり）
- ⑤事業所との面談（各種サービス事業所との連携）
- ⑥出勤状況、作業内容の記録

(2) 職業指導

所員個々に応じた作業内容の確認と助言を行います

a. 製 造

- ①パン・クッキーの作り方の助言
 - ・各種別のパンの作り方の助言

- ・調味、粉はかりの仕方の助言
- ②作業に使用する道具等の使い方の助言
- ・各種袋入れルール

b. 販売

- ①接客マナーの助言
- ②販売用紙の記録方法助言
- ③会計について助言

(3) 生活支援

所員のQOL、自立生活に向けての支援を行います

- ①身だしなみ、衣類調節等の支援
- ②小遣い帳の記録（随時）・小遣いの使い方支援
- ③時計の見方
- ④バス通勤の指導・支援
- ⑤意思伝達、会話等の支援
- ⑥連絡帳
- ⑦個別ノートによる記録物の支援
- ⑧家庭での過ごし方などの傾聴
- ⑨携帯電話の使い方の助言
- ⑩人間関係、他者とのコミュニケーション方法の支援
- ⑪相談等への傾聴
- ⑫各種必要とするサービスへの情報提供と支援

5. 地域活動

地域との繋がりを大切にし、交流を深めていきます

- ①祇園、祝町のイベント参加
- ②公園清掃（月1回程度実施）
- ③ワゴン販売

(3) その他

- ①パン作り交流会（未定）
- ②杉の実保育園、中央しおり保育園との交流
- ・クッキー作り（1月）

6. 研修・防災

職員の能力向上を目的とした取り組みを積極的行います

(1) 研修

- a. 所内（月に1回、太陽パン内にて実施予定）
- b. 所外

受講申し込みの方法を検討する

- ①中堅職員向けの研修受講
- ②各種講習会の受講

c. 資格

(2) 防災

防災に関する意識を高めると共に定期的な防災訓練を行います

①火災訓練(9月頃)

消防署の指導の元、避難訓練・通報訓練・消火器使用体験を行います(未定)

②防災訓練(3月頃)

福岡市防災センターにて火災・地震・水害の訓練を行います

7. 保護者会

今年度は実施せず、書面にて情報交換をします。

8. その他

(1) 職員の健康管理

- ・ 健康診断

(2) 職員会議等

職員間の意識の確認、様々な問題解決に向けての会議を行います

- ・ 職員会議

定期会議(月2回)、臨時会議(随時)

令和 5 年度 太陽パン行事予定

4 月	未定
5 月	未定
6 月	職員健康診断 所員健康診断
7 月	
8 月	パン作り交流会
9 月	消防点検、避難訓練、消防立ち入り調査
10 月	未定
11 月	未定
12 月	忘年会
1 月	そば ぜんざい
2 月	未定
3 月	防災訓練（福岡市民防災センター）

令和 5 年度事業計画

就労継続支援 B 型事業所 虹工房

1. はじめに

(1) 令和 5 年度の基本的方針

- ①地域の中で地域の人達と共に生き生きと生活できるように
地域の行事に進んで参加します。
- ②地域交流・社会貢献の一環として
事業所近くのゴミ置き場の清掃・周辺道路のゴミ拾いを続けます。
- ③所員の健康チェックの為に健康診断・体重測定・血圧測定・体温測定・血中酸素
濃度測定を続けます。
- ④火災訓練・避難訓練・防災訓練を実施します。
- ⑤工賃アップのために作業を拡大します。
- ⑥特別支援学校の実習生を継続的に受け入れられるように努力します。
- ⑦安定した事業所運営の為に所員数を増やします。

(2) 所員の状況

(令和 4 年 3 月 15 日現在)

名前	年齢	療育	身体	精神	区分	介護	年金
A	39	-	1 級	-	4		1 級
B	41	B 2	-	2 級	2		2 級
C	45	A 1	-		6		1 級
D	46	A 1	-		5		1 級
E	63	A 1	-		-		1 級
F	64	-	-	2 級	-		-
G	67	B 1	-		-	要介護 1	2 級
H	69	B 2	-	2 級	4	要介護 1	-
I	74	B 1	-	2 級		要介護 1	-
J	74	B 2	-			要介護 1	2 級
K	79	B 2	-			要介護 1	2 級

F・H・I は生活保護費に精神 2 級の加算あり

[療育 6 名・身体 1 名・精神 1 名・重複（療育＋精神） 3 名]

(3) サービス費等

- ①就労継続支援 B 型サービス費 611 単位 × 出勤日数
- ②処遇改善加算Ⅲ 単位合計の 2.2%
- ③目標工賃達成指導員加算 89 単位 × 出勤日数（令和 4 年 11 月から）

2. 就労支援活動

(1) 作業

昨年度に引き続き作業を続けます。

a. アーランド

① フィルターの袋詰め

- ・換気扇
- ・エアコン
- ・バスポンプ
- ・扇風機

② フィルター以外の袋詰め

- ・補修テープ
- ・滑り止め
- ・吸水棒

b. コマツパッケージ

① 湖月堂の箱作り

② 湖月堂以外の箱作り

- ・すずかけ
- ・ツマガリ

③ 仕切り組み

- ・すずかけ
- ・ツマガリ

(2) バザー

バザーに出店をします。

自社製品を作り販売します。

3. 福祉活動

(1) 健康管理

昨年度に引き続き健康的な生活を長く過ごせるように支援を続けます。

① 健康診断（年1回秋に予定）

② 体重測定（毎月料理教室時）

③ ラジオ体操（随時）

④ 血圧測定・体温測定・血中酸素濃度測定

(2) 研修

昨年度は資金不足と新型コロナウイルスの影響で実施できなかったのを、

今年度は知識を高めるため、慰安・親睦を兼ねて行います。

① 研修旅行（年度末に予定）

日帰りバスハイクは体力的に負担が大きいので1泊旅行を考えています。

とても楽しみにしている所員がいる反面、リハビリパンツ使用が恥ずかしいため1泊旅行に行きたくない所員もいるので考慮中です。

② 施設研修（美術館・博物館など）

③ 料理教室（毎月）

(3) 親睦

職員と所員間・所員同士の関係向上を図るために行います。

昨年度は実施できなかった①を行います。

① バーベキュー (5月予定)

② 忘年会 (12月)

③ 新年会 (1月)

事業所間の交流と親睦を図るために参加します。

太陽パン パン作り交流会 (8月)

4. 支援活動

(1) サービス管理

昨年度に引き続き本人が望む生活を続けられるようにサービス管理を続けます。

精神障害の方が利用された場合のネットワーク作りも考えます。

① 支援計画書作成 (年2回)

② モニタリング (1～2か月ごと)

③ カンファレンス (不定期)

④ 相談支援事業所の相談支援員との連携 (随時)

⑤ 自宅への送迎 (体調面・安全面を考慮したうえでの)

⑥ 保護者への連絡 (電話)

⑦ 出勤状況・作業内容の記録 (毎日)

(2) 職業指導

働く意味・意義を知るため、

障害を持った人が行きていく力を付けるために次の事を行います。

① 完成品の質向上の為の検査を指導

- ・ ミスを少なくするために自分たちでチェックする
(集中力を付けるため・集中力を鍛えるため)

② 職業行動支援

- ・ 職場でのふるまい方
- ・ 距離感
- ・ 融通が利くか等

(3) 生活支援

健康的で自立した生活を続けるために次の支援を続けます。

特に②について、受診を嫌がる人がいるので定期的に受診を薦めます。

また①と②を併用して支援を続けます。

① 服薬チェック (毎日)

② 通院勧奨 (随時)

③ 金銭管理 (小遣い帳記入・随時)

④ 身だしなみ指導 (清潔感のある服装・場合によりコインランドリー同行)

⑤ S S T（ソーシャル・スキル・トレーニング）

＊ S S Tとは・・・人が社会でほかの人と関わりながら生きていくために
欠かせないスキルを身につける訓練のこと。

次のようなことを随時行っています。

- ・適切なタイミングで適切なあいさつの言葉を発する事が出来るようになる。
- ・「ありがとう」「お願いします」等の言葉がスッと出るようになる。
- ・一つの商品を皆で協力して作り上げる。

⑥ バス通勤の支援

5. 地域活動

地域との繋がりを大切にします。

新型コロナウイルス収束後は積極的に地域の行事に参加します。

（1）毎週2回（月・木）に事業所近くのゴミ置き場・周辺のゴミ拾いを続けます。

（健康・気分転換も兼ねて）

（2）バザー等への参加

- ・若園バザー（5月）
- ・杉の実保育園夕涼み会（7月）
- ・企救丘夏祭り（7月）
- ・城野夏祭り（7月）
- ・城野市民センター文化祭バザー（11月）
- ・志井市民センター文化祭バザー（11月）
- ・企救丘桜まつり（3月）

（3）城野市民センター「まちづくり協議会」活動への参加

①校區清掃

②紫川清掃（10月・3月）

③敬老会爪楊枝入れ作り（10月）

④福祉餅つき会（12月）

（4）利用者の紹介を依頼するための繋がり

①相談支援事業所

②区役所・保護課就労支援担当者

③ホームレスサポートセンター

（5）作業の拡大のための繋がり

ルートを作る・ルートの確保に努めます。

6. 研修・防災

（1）職員研修

a. 社内

引き続き毎月定期的に勉強会を行います。

有識者の講話など

b. 社外

職員の能力向上のための研修受講を薦めます。

①中堅職員向けの研修受講

②各種講習会の受講

(2) 防災・救急

①防災による休業

市内小中学校が休校の時は休業とします。

②事業所での火災・避難訓練（日程は未定）

③防災訓練

福岡市防災センターでの体験・見学（日程は未定）

④救急講習

心肺蘇生・AED の取り扱い要項など（防災訓練後）

令和 5 年度行事予定表

	予定		
4 月		校区清掃	料理教室
5 月	親睦バーベキュー 若園バザー		料理教室
6 月	火災訓練		料理教室
7 月	夕涼み会（杉の実保育園） 企救丘夏祭り 城野夏祭り	紫川清掃	料理教室
8 月	パン作り交流会（太陽パン）		料理教室
9 月	避難訓練		料理教室
10 月		校区清掃	料理教室
11 月	文化祭バザー（城野市民センター） 文化祭バザー（志井市民センター）		料理教室
12 月	忘年会	福祉餅つき会	料理教室
1 月	新年会		料理教室
2 月			料理教室
3 月	研修旅行 防災体験・救急講習 企救丘桜まつり	紫川清掃	料理教室

・新型コロナウイルスの影響で中止にならず開催されると仮定しての行事予定。